

# 議会だより



松島第一小学校 “入学式会場へ”

## 平成22年度予算を可決

- ◇ 新年度方針を問う(総括質疑) ……4P
- ◇ 自由討議 ……6P
- ◇ 予算審査特別委員会分科会 ……8P
- ◇ 一般質問10名の議員が登壇 ……23P
- ◇ 議案採決結果 ……35P
- ◇ 町民の声 ……36P

平成22年  
第1回 定例会

[3月3日～3月17日]

# 予算総額 101億3,286万5千円 新年度事業がスタート



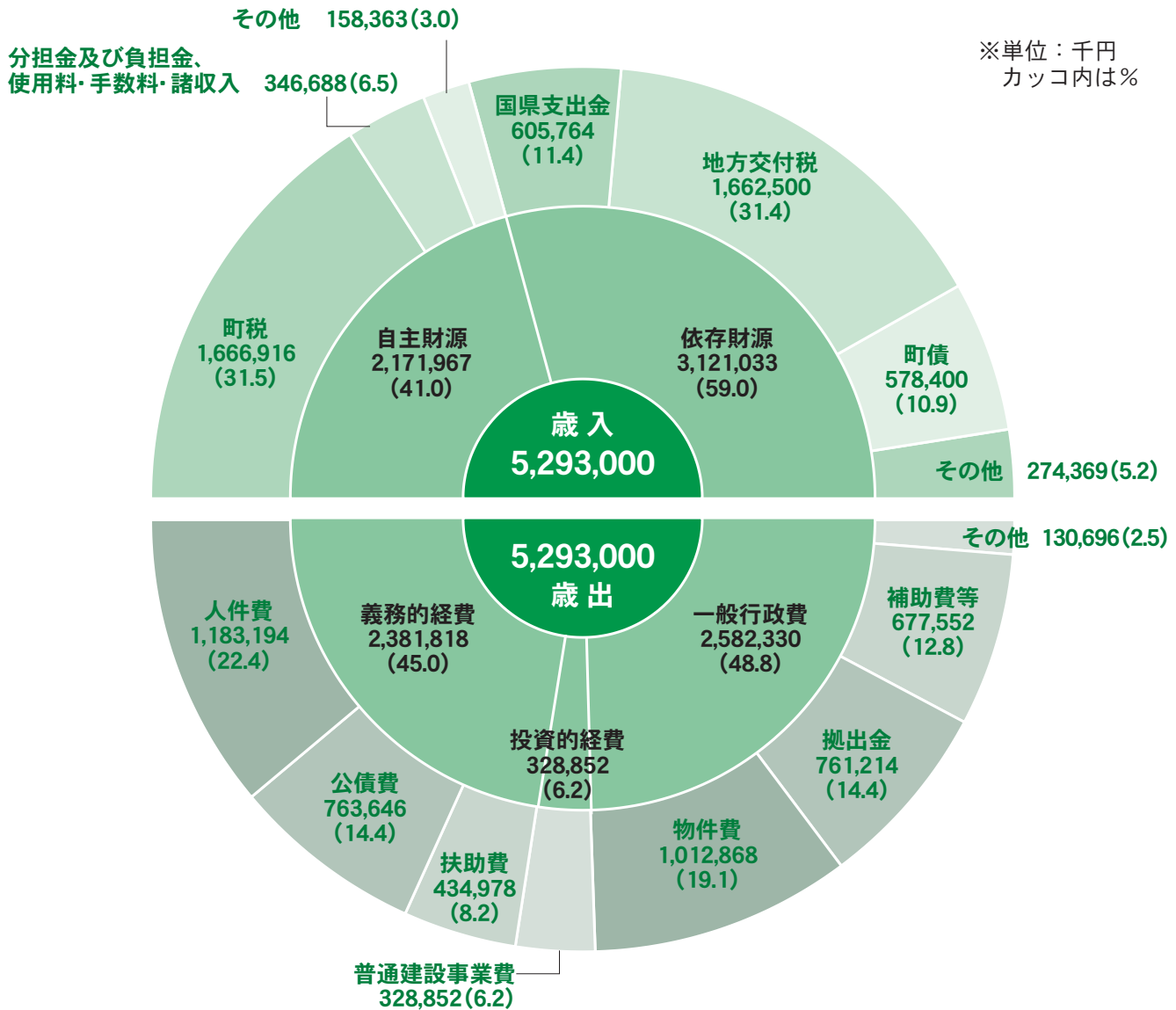
平成22年第1回定例会が、3月3日から17日までの会期で開かれました。開会初日、大橋健男町長から新年度における施政方針が表明されました。議会では、予算審査特別委員会を設置し、各種会計の新年度予算を慎重に審査しました。その結果、すべての会計の予算を原案のとおり可決しました。その他、4つの条例の一部改正、平成21年度各種会計補正予算等の議案を原案のとおり可決しました。

一般質問では、10人の議員が登壇し、各々の視点から町政について質問しました。

## 平成22年度予算

会計名		予算額	前年度当初比
一	一般会計	52億9,300万円	0.8%
特別会計	国民健康保険	17億8,661万4千円	3.4%
	老人保健	30万6千円	△ 80.8%
	後期高齢者医療	1億7,693万3千円	0.1%
	介護保険	11億5,613万7千円	8.4%
	介護サービス事業	452万2千円	△ 3.8%
	観瀾亭等	8,413万6千円	10.9%
	松島区外区有財産	172万8千円	△ 2.9%
	下水道事業	9億278万4千円	△ 25.2%
一般会計・特別会計合計		94億616万円	△ 1.1%
水道事業会計		7億2,670万5千円	△ 24.9%
合計		101億3,286万5千円	△ 3.3%

# 平成22年度当初予算（一般会計）



※構成比の数値は、四捨五入しているため、計の数値と合わない場合があります

歳入財源内訳	金額	比率
自主財源	2,171,967	41.0%
町税	1,666,916	31.5%
分担金及び負担金、 使用料・手数料・諸収入	346,688	6.5%
その他	158,363	3.0%
依存財源	3,121,033	59.0%
国・県支出金	605,764	11.4%
地方交付税	1,662,500	31.4%
町債	578,400	10.9%
その他	274,369	5.2%
<b>歳入合計</b>	<b>5,293,000</b>	<b>100%</b>

歳出性質別	金額	比率
義務的経費	2,381,818	45.0%
人件費	1,183,194	22.4%
公債費	763,646	14.4%
扶助費	434,978	8.2%
投資的経費	328,852	6.2%
普通建設事業費	328,852	6.2%
一般行政費	2,582,330	48.8%
物件費	1,012,868	19.1%
抛出金	761,214	14.4%
補助費等	677,552	12.8%
その他	130,696	2.5%
<b>歳出合計</b>	<b>5,293,000</b>	<b>100%</b>



# 22年度 予算を問う

# 総括質疑

**総括質疑とは**  
議会の会議に提出される案件（予算案）を一括して質問し答弁を求める質問の方法をいいます。  
質問の方法は一括質問と一問一答の形式があります。

## 質疑者

議員 議員 議員 議員 議員  
議員 議員 議員 議員 議員  
雄悦郎 夫弘 雄章  
良慶 辰晴 正公  
野口 橋川 山幡 野  
菅尾 高色 片小 今

## 予算・財源対策

**問** 本年度予算で、自信を持って誇れる予算づけは何か。

**答** 松島第一小学校体育館建設、中央公民館改修、本郷区の集会施設整備がある。また目玉として、「松島もつともつとアピール」で定住化を目指していく。

**問** 町債（借金）は、平成22年度末で12億2,200万円となる。現状をどうとらえて予算編成したのか、また類似町村との比較はどうか。

**答** 基本的には、適性規模である。他町村と比較して税収では違うが平均以上である。

**問** 独自のまちづくりをどう進めていくのか。

**答** 松島の歴史・産業の成り立ちを基本として、観光を中心にインフラ整備等を図り、住民が幸せを感じるまちづくりを推進していく。

**問** 効率的な行政運営をどう取り組むのか。

**答** 住民の負託を受け、効率的な運営を目指しており、目標は変わらない。

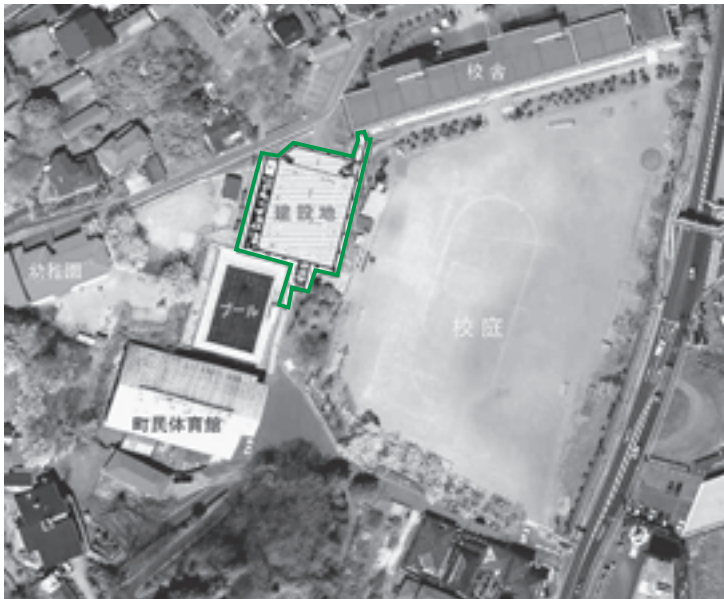
## 定住促進

**問** 定住政策で、各方面と連携して人口増を図るための具体策は。

**答** 現状では大変厳しい。自動車関連会社がらみの動きで、ホームページでの情報発信や定住促進プラン策定を図っていく。

**問** 職員で松島に住んでいない人もいます。意見を聞くことから始めてはどうか。

**答** 職員から話を聞きながら、庁内で検討していく。



松島第一小学校体育館建設予定箇所

## 観光・国際交流

**問** 観光振興にはどのような取り組みつもりか。

**答** 松島の産業と観光の結びつきが盛り上がりつつきた。地場産品を観光に結びつけた取り組みが、これからの課題である。

**問** 11月に奥の細道サミットが開催されるが、観光振興との結びつきは。

**答** 奥の細道サミットについては、伊達な観光圏4都市で広域観光の一環として取り組んでいく。

**問** ロシアと交流して、観光誘客を図るとしているが、効果があるのか。

**答** 昨年のロシア訪問で成果があった。県よりロシアからの研修員を町職員として受け入れてほしいとの打診があった。

## 農業問題

**問** 松島ブランド米の立ち上げ事業の内容は。

**答** 松島らしい栽培基準で、環境保全米を生産し、ホテル、旅館が利用することで産業界連携を図る。本年度はササニシキを33ha栽培する計画である。

## 都市計画道路

**問** 根廻磯崎線を整備することで、松島町の将来像をどう見るのか。

**答** 幹線道路網のネットワークとして、磯崎の各団地へのアクセス道路と考えている。

## 芸術・文化振興

**問** 芸術文化の振興を、今後どう考えるのか。

**答** 今年度は、子供達を含め町民に「生の芸術」に触れてもらう。プロの奏者等によるコンサートで芸術に接する場を提供する。

## 環境・防災対策

**問** 一般廃棄物の減量化を進めるとしているが、予算削減の中でどう対応するのか。

**答** 町内の一事業者が、バイオマスリサイクルセンターでの食品残飯の堆肥化に着手し、また今年ホテルから出る生ゴミの資源化を目指している。



2月27日発生のチリ地震による大津波の状況

**問** 地震対策を進めるための予算が必要と思うが。

**答** 今回のチリ地震津波での避難所への誘導、指示等は充分でなく、問題もあり対応について庁内で検討していく。

**問** 来年の地上デジタル放送開始を控え難視聴対策はどうするのか。

**答** 中継局の設置ならびに、共同アンテナでの対応と、新しくケーブルテレビで各家庭へ送信するという話もある。

## 福祉対策

**問** 3年間ほどグループホームが閉鎖状態となっている。今回、公募で事業者を募っているがどうなのか。

**答** 公平に事業者を選定するには、一定の期間をとり公募する必要があった。

**問** 特定健診を無料にすることは良いが、受診率が上がれば元に戻すのか。

**答** 平成21年度に健診の自己負担金を700円安くしたら受診率が少し上がった。受診率は費用と関連することから、22年度から無料とし元に戻さない。

# 自由討議

平成22年度松島町  
予算審査特別委員会  
における自由討議に  
ついて、議長を除く  
全議員で次の4点に  
ついて活発な討論を  
行い、各々次のよう  
な意見が出された。

## 議員同士の自由討議の意義とは

- 合意をつくり出します（新しい提案等）
- 問題点を多角的・複眼的にみられます
- 決定し執行しても問題があれば早めに修正できま
- す
- 住民の意見を代表するとともに、住民の意見をつ
- くり出します

## 都市計画道路根廻磯崎線の 事業再開は

●この事業を中止するか、  
再開するのは21年度  
に決断しなければなら  
ないことはわかりきつ  
ていた。町の対応が遅  
すぎる。

●接続しなければ無意味  
である。

●この道路の予算を町民  
福祉の向上や防災等に  
向けるべきである。

●補助金を返還するよう  
なら後々の事業に影響  
があるのではないかと  
懸念する。

●県道への接続は、年数  
も工事費もどれぐらい  
かかるかわからない。

●この道路は始点と終点  
の計画はあるが、最初  
に中間部分の認可をう  
けて工事が始まっている。  
理解できないところ  
である。

●団地住民や地区住民の  
要望もあり、町全体の  
道路体系としても必要  
と思われるので、ぜひ  
進めてほしい。

●この都市計画道路の決  
定は、団地の開発と関  
連があったと思ってい  
る。団地の開発業者が  
もっと早く幹線道路を  
各団地につないでおく  
べきであった。

●事業計画の中で最も重  
要なところから認可を  
うけて、工事を始める  
ことが行政の常道であ  
る。

●工事を再開して仙石線  
に架橋しても、県道  
奥松島・松島公園線に

●この道路が計画どおり  
完成しても、防災上の  
メリットはない。

●この事業は、休止でな  
く中止したものと思っ  
ていた。国への返還金  
は本当に1億6,000  
万円なのか。財政面  
で心配がある。

## 長期総合計画・実施計画を検証

●補正予算のきめ細かな  
臨時交付金時事業で行  
う事業と長期総合計画  
や実施計画との整合性  
が理解できない。

●町の考え方と議会の考  
え方との調整のために、  
2回あるいは3回ぐら  
いすり合わせを行うべ  
きである。

●長期総合計画や実施計  
画を決定する前に、議  
会と協議してもいいの  
ではないか。

●中期計画、長期計画は  
時代の流れ、社会の流  
れに沿って変えていく  
こともやむをえない。

●第三次長期総合計画策  
定の最終年次に入るが、  
内容を検証する時期だ  
と思う。

●実施計画だけでなく基  
本計画の段階でも議会  
に示し、議論すること  
が大事である。

●施政方針と長期総合計  
画との裏づけが明確で  
ない。

●予算案を議会に提出す  
る前にも、特に重要と  
思われる事案について  
は、説明があつてしか  
るべきである。

●昨年提案された観光課  
分室改修工事が、議会  
に対して何の説明もな  
く22年度予算から消え  
ている。

●議会報告会での町民か  
らの要望が町の施策に  
反映されていない。





町営高城住宅

## 定住促進・町営住宅見直しは

## 観光振興対策としての 循環バス運行はどのようなのか

- 学校を卒業して就職すると、町外や県外へ離れる人が多い。働く場所や子育てしやすい環境など、いろいろな要素がからむ。住宅もそのひとつで、若い人たちにとって魅力ある住宅を調査してそれを進めるのが良い。

- 近隣の町には財政が厳しいのに町営住宅の建設を考えているところもある。松島も思いついて、子供が生まれたら50万円とか60万円とか、座みやすく育てやすい環境を作るために助成すべきだと思う。

- 今住んでいる人が、住んで良かったと思う人を増やす必要がある。そのためには、福祉の充実が一番だと思う。

- 若い人が30年住むなら、家を建てた時に100万円くらい出していい。所得税や固定資産税で戻ってくれば安い。

- 大都市以外は特効薬はないのが実情だと思う。

- 若い人たちがどういう理由で住む場所を決めるのか。その条件を整えて、松島の良さをアピールしたい。

- 子育てと働く場所があつて、さらに環境が良ければ定住すると思う。

- 魅力ある住宅の環境を求めるべきである。いくらか助成するなど、町のリーダーシップを求めたい。

- 住みよい町なら、まず町営住宅がきちつとしていないといけない。

- 町外へ転出する理由が判れば、対応のヒントが得られるのではないかと。

- 保育園などの時間延長や児童館の新設拡充が必要である。

この件は「第1常任委員会所管事務調査」でも提言していたが、今年3月でバスが運行廃止になる。今後の運行について意見が出された。

- 町民バスの倍以上の乗客があるので、廃止は大変残念。ぜひ再開できるように期待している。

- 継続するためには、今のバスでは大きすぎる。西行戻しの松や富山観音まで行けるように利用を図るべきである。

- これまではホテルを結んでいたが、町がやればそこまでは行けない。二次交通なら、西行戻しの松や双観山などを周遊しても良い。そうすると、1回100円ではあわない。

- この循環バスの採算が合わないのは予想されただけである。ただ、観光として考えると、

新しい方向でやっていくのは検討に値する。

- 今までは、各ホテルが観光客を迎えに行っていたが、ホテルが拠出してバスで回れば経費節減になると考えた。朝夕以外はガラガラで、1,700万円の赤字になった。現在は、かき小屋の利益が出ているが、長期的な保証はない。最終的に経費の問題で断念した。

- 町として効果のあったバス事業を予算の問題で廃止した。町主導で高台や風光明媚な離れた場所に案内してほしい。

- 認可が切れるのを知っていて、町は放置したことになる。路線を変えたり車体を小さくするなどできる方法を探りたい。

どうつかわられるのか

# 予算を徹底検証

平成22年度各種会計当初予算について議長を除く17名による予算審査特別委員会を設置し、分科会方式で審議しました。

委員会は、各課ごとに質疑応答を行い徹底検証しました。

## 第1 常任委員会が審査する課

議会事務局 / 会計課 / 総務課(環境防災含)  
 企画調整課 / 財務課  
 産業観光課(観瀾亭等特別会計含)



本郷区集会施設建設は旧二小跡地へ

## 総務・環境防災

### 主なつかいみち

○ 議会費	1億1,776万円(- 16万円)
○ 総務一般管理費	2億6,048万円(+ 689万円)
○ 集会施設建設費	4,256万円(+4,256万円)
○ 町民バス運行費	3,163万円(+ 44万円)
○ 消防(災害対策含)費	2億2,487万円(+ 506万円)

※( )内は前年度対比 単位:万円

### 集会場22年度本郷区・23年度高城区に建設

**問** 国の緊急雇用で13人を採用するが、必要な採用なのか。

**答** 各課からの要望を精査し、職員が足りない保育所・幼稚園等で採用する。

**問** 集会施設建設で22年度は本郷区に、23年度は高城区に建設する場所はどこか。

**答** 本郷区は旧二小跡地で、高城区は区会と協議で現在の公会堂に建設予定である。

**問** 環境保全でゴミの減量化に努め3R<sup>※</sup>廃棄物抑制の意識改革を推進するとしているが取り組みは。

**答** ゴミの減量化を図るには、事業系の可燃ごみ(生ごみ)が一番の課題である。その対策として、一事業所が減量化に取り組んでおり、その成果を期待している。

※3Rとは リデュース Reduce(減らす) リユース Reuse(繰り返し使う) リサイクル Recycle(再資源化)



# 企画・財政

## 主なつかいみち

○企画費	1,551万円(+ 717万円)
○電子計算費	6,076万円(- 369万円)
○財産管理費	3,236万円(- 262万円)
○賦課徴収費	4,937万円(-4,283万円)



産業まつりの様子

# 産業・観光

## 主なつかいみち

○農業振興費	1,605万円(- 173万円)
○林業振興費	4,069万円(- 667万円)
○商工業振興費	6,079万円(+ 253万円)
○観光費	5,905万円(- 684万円)
○観瀾亭等特別会計	8,413万円(+ 824万円)

## 今後のまちづくりと景観をいかに

**問** 長期総合計画策定は松島らしい計画を取り入れるべきだが。

**答** 住民アンケート等町民の意見を聞き、21年度、22年度の2年間で策定する。

**問** 人口減少対策として定住促進を図るべきだが。

**答** くぬぎ台団地も徐々に入居者が増えており、県進出の企業訪問をして人口増に続けたい。

**問** 町内業者の育成、景気対策等を図る目的から入札制度の見直しをすべきだが。

**答** 極力地元業者に発注している。なお一層入札に参加出来る制度の見直しを検討する。

## 観光松島の新たな戦略は

**問** 観光振興の施策は。

**答** 11月に全国から300人が来町し「奥の細道サミット」を開催する。また、松島観光親善大使として速水けんたろう氏に委嘱を依頼した。さらに松島ファンクラブを新設し、松島のファンを増やし町の活性化を図りたい。

**問** 観瀾亭と福浦橋の運営を、民間委託は出来ないか。

**答** 行財政見直しの中で検討していきたい。



幡谷くぬぎ台

# 建設・土木

## 主なつかいみち

○木造住宅等震災対策事業費	296万円(± 0万円)
○道路維持費	4,220万円(- 407万円)
○道路新設改良費	2,283万円(+ 854万円)
○街路事業費(都市計画道路)	100万円( 新規)

**問** 町営住宅の管理を見直すべきではないか。

**答** 古い町営住宅に魅力がないのが問題であり、なかなか難しい。

**問** 磯島の町有地の利用方法は、イベント広場的なものを考えている。

**答** 磯島の町有地の利用方法は、イベント広場的なものと考えている。

**問** 道路舗装の順番は、順番づけをして実施している。

**答** 各地区からの要望により、順番づけをして実施している。

## 都市計画道路根廻磯崎線の工事を再開

**問** 都市計画道路工事の再開は無駄ではないのか。

**答** 地区等の要望もあり、町全体の交通体系として必要と考えている。

**問** 県道まで接続するのはいつごろか。

**答** 認可部分が28年度完成であり、その後である。



都市計画道路の根廻磯崎線

## 第2 常任委員会が審査する課

町民福祉課 / 建設課 / 教育委員会教育課  
水道事業所



住民健康診断

## 町民サービス・福祉

### 主なつかいみち

○障害者福祉費	2億 784万円(+1,208万円)
○老人福祉費	2億5,281万円(+ 702万円)
○児童措置費(子ども手当)	1億8,860万円( 新規)
○乳幼児医療対策費	1,689万円(+ 453万円)
○子育て支援事業費	329万円(+ 163万円)

## 本年から特定健診が無料化

**問** 福祉タクシーの助成を利用している人数は。

**答** 高齢者が209人、障がい者一級・二級者が173人、療育手帳所持者が14人である。

**問** 障がい者の自己負担は、原則1割であるが、所得によって差がある。

**問** 障がい者の自己負担は、原則1割であるが、所得によって差がある。

**問** 平成22年度に保育料の見直しを行うのか。

**答** 本年度は見直しを行わず、前年度と同じである。

**問** 本年から特定健診は無料化となっているが。

**答** 平成22年度から無料となるが、新しい検査項目となる腎臓検査(クレアチニン検査)は有料である。

**問** 本年から特定健診は無料化となっているが。

**答** 平成22年度から無料となるが、新しい検査項目となる腎臓検査(クレアチニン検査)は有料である。

**問** 乳幼児医療の対象者は、見込みであるが、567人、8,037件と見ている。



大規模改修予定の中央公民館



温水プール「美遊」

## 教 育 ・ 文 化

### 主 な つ か い み ち

○文化財保護費	1,184万円(－604万円)	○学校建設費	1億1,218万円( 新規)
○給食施設費	9,920万円(－109万円)	○公民館費	5,937万円(+97万円)
○幼稚園費	6,589万円(－827万円)		

### 松一小体育館を建設

**問** 緊急雇用創出事業で採用した図書司書の今後はどうするのか。  
**答** ひきつづき雇用していく。

**問** 松一小体育館建設中の安全管理は。  
**答** 工事を開始したら、2mのフェンスで囲う。

るが、全家庭に献立表を配布している。

**問** 西の浜貝塚の遺物整理はどのような方法で行うのか。  
**答** 膨大な量であり、松一小から、手樽交流センターへ移し、整理する。

**問** 給食の地場産品の使用割合は。  
**答** 町内産だけでは、平成21年度は4・7%であるが、県内産を含めると26・3%である。  
**問** 給食のアレルギー対策は。  
**答** 全食停止か牛乳停止だけである。

**問** 勤労青少年ホームの2階を見学館とするのに、これまでの利用者に不便をかけることはないのか。  
**答** 平成23年度からとなるので、十分に配慮していく。

### 中央公民館大規模改修へ

**問** 中央公民館の大規模改修の内容は。  
**答** 平成24年度までであり、大会場を文化ホールのものに、段差解消等が目的である。

**問** 温水プールへの町民バスの乗り入れ時刻は適切か。  
**答** なるべく温水プール利用者に合わせている。

**問** 温水プール「美遊」の維持管理は負担が大きくないのか。  
**答** ゆくゆくは指定管理者制度への移管も考えている。



# 特別会計

## 主なつかいみち

○国民健康保険	17億8,661万円(+5,809万円)
○老人保健	30万円(-128万円)
○後期高齢者医療	1億7,693万円(+14万円)
○介護保険	11億5,613万円(+8,937万円)
○介護サービス事業	452万円(-17万円)

**問** 介護士の待遇が改善されたと思うが、その人数は。

**答** 介護施設から県への直接請求であり、町としては把握していない。

**問** 介護士の待遇が改善されたと思うが、その人数は。

**答** 介護施設から県への直接請求であり、町としては把握していない。

**問** 資格証明書の発行数は、平成21年8月1日現在で20世帯である。

**答** 資格証明書の発行数は、平成21年8月1日現在で20世帯である。

## 国税の収納率の向上を

い。

**問** 介護保険の介護サービス等諸費が約7,600万円増加しているが、その理由は。

**答** サービス利用が周知されたためと思われる。

**問** グループホーム大輪の郷の問題は。

**答** 退所者の現在の状況等も含め、適切に処理している。

# 水道事業所

## 主なつかいみち

○合併処理浄化槽整備事業費	684万円(±0円)
○下水道事業費	9億278万円(-3億337万円)
※(うち公債費)	5億8,701万円(-3億829万円)
○水道事業費用(収益的支出)	5億8,286万円(-3,006万円)

## 合併処理浄化槽設置の促進を

**問** 合併処理浄化槽の設置数は、公共下水道区域外で270世帯、区域内で9世帯である。

**答** 合併処理浄化槽の設置数は、公共下水道区域外で270世帯、区域内で9世帯である。

**問** 公共下水道区域外の世帯数は、1,040世帯である。

**答** 公共下水道区域外の世帯数は、1,040世帯である。

**問** 排水機場で自家発電機を設置しているところはどこか。

**答** 高城・磯崎・新町の3か所である。

**問** 委託料の減額の利用は、中継ポンプ場自家発電点検量と、汚泥塔清掃業務の約400万円である。

**答** 委託料の減額の利用は、中継ポンプ場自家発電点検量と、汚泥塔清掃業務の約400万円である。

**問** 水道の口径はどのように決定しているのか。

**答** おおむね設計の段階で決定しており、蛇口が5つまでは13mmで、6つ以上が20mmとしている。



敬老会



合併処理浄化槽設置工事

# 議員定数等調査特別委員会設置

## 議員提案



### ○提出者の説明

市町村議会の議員定数は、地方自治法第91条により人口規模に応じて上限が決まっている。現在、松島町議会の定数は18人である。全国的に議員定数削減が続いており、当議会としても行財政改革推進を図ることを、町民

が注目期待しているものと認識している。

松島町議会として、議長を除く17名で構成する議員定数等調査特別委員会を設置し、議員定数等を調査検討することが、町民の期待にこたえることと考えて提案した。

### ○提出者

太 齋 雅 一 議員

### ○賛成者

高 橋 利 典 議員  
 渋谷 秀 夫 議員  
 尾 口 慶 悦 議員  
 片 山 正 弘 議員  
 小 幡 公 雄 議員  
**賛成全員・可決**

### ●委員長

小 幡 公 雄 議員

### ●副委員長

高 橋 利 典 議員

## 議員提案

# ゲーミング・エンターテイメント 複合施設の誘致推進に関する 調査特別委員会

質疑・答弁者

今野 章 議員  
 高橋 辰郎 議員

### ○提案者の説明

昨年の3月議会前に、ゲーミング・エンターテイメント複合施設の誘致推進に関する陳情が出された。レジャーの質は金銭消費型から時間消費型に変わっており、家族ぐるみで楽しめる健全なエンターテイメントが望まれているとして、町議会に調査特別委員会を設置された。特別委員会は全体会議3回、小委員会5回活動した。

しかし、昨年12月14日、議員の任期満了で特別委員会は自然消滅している。再び新しい議会に議長を除く17名で構成する調査特別委員会を設置して、審議すべきであると考えて提案した。

### 問 国の法整備はどうか。

答 旧自民党政権時代には草案はできていたが、政権交代により提案するにいたっていない。

### 問 いわゆるカジノ施設を含んだ巨大な施設は、日本三景松島にふさわしくないし、地元の観光業者も必ずしも歓迎していないのではないか。

答 松島のためになることも、ならないこともなかにはあると思う。ただ、そのために調査や審議をつくり、所定の作業をしなければ結論は出せないと思う。

### ○提出者

高 橋 辰 郎 議員

### ○賛成者

高 橋 利 典 議員  
 尾 口 慶 悦 議員  
 色 川 晴 夫 議員  
**賛成多数・可決**

### ●委員長

高 橋 辰 郎 議員

### ●副委員長

色 川 晴 夫 議員

ゲーミング・エンターテイメントの内容については、まっしま議会だより第100号の29頁にも掲載されていますので、ご覧下さい。

# 町当局に14項目の意見・要望を提出

予算審査特別委員会のもと、第1分科会（第1常任委員会）、第2分科会（第2常任委員会）において、平成22年度一般会計予算および特別会計予算について5日間にわたり詳細に審査された。その結果、予算の執行にあたり、以下のとおり意見・要望が集約され町長へ提出した。

## 総務課所管

### 緊急雇用対策

国の緊急雇用創出臨時特例基金事業により、13名の臨時雇用費を計上しているが、目的をもった事業費に投資をされ、成果を出せるよう適正な対応を求めらる。

### 職員採用（人事配置）

平成22年度 職員採用は、上級職3名・初級職2名の計5名が採用されている。

正職員は、松島町行財政改革集中プランに沿っているものの、臨時職員については、緊急雇用関係を含むてもあまりにも多すぎる。人的配置についても、

適正に対処されていると  
言い難い。

前年度の予算審査特別委員会報告書における審査意見についての是正は、生かされていないと指摘したい。

## 企画調整課所管

### 長期総合計画第三次基本計画策定

計画策定にあたっては、まず庁内で十分議論検討すべきである。

検討委員会・建設審議会における協議・審議過程の中で、議会全員協議会を開催して協議すべきであり、この過程を経て策定業務委託を実施すべきである。

## 定住促進対策

定住促進対策を進めるにあたっては、アドバイザーの意見導入を考えているが、それ以外に庁内において松島のセールスポイントである海・歴史・日本三景の特長を生かした誘致施策を整備し、早急に具体的な対策をとりたい。

例を示せば、教育・福祉・介護の環境整備、省エネ住宅補助、町税等の軽減措置、子育て対策推進補助、賃貸住宅に対するのリフォーム及び家賃補助等々があげられる。

また、本町から町職員以外5名を募集するとの説明があつたが、これらの方々に対し一定の補助を考へる必要があるのでは

## 財務課所管

### 目的別経費の予算計上等を

予算編成にあたっては、目的・根拠を明確にし、同一目的事業については曖昧な予算計上をすることなく、適正な科目に統一されるよう望まれる。

特に宮城・松島国際観光宣伝訪問団（仮称）によるロシア訪問関係経費については、予算措置が総務費に計上されており、観光費が正しいのではないかと。

## 入札制度

昨年度も指摘した入札制度について、若干の改善を行い入札を執行しているが、対策が不十分であり事業量の減少と低価格入札等により、町内業者の経営が限界にきている状況である。町は地域貢献度を最大限に考慮し、町内業者向け（業務委託等についても最低基準価格を設定等）大幅な緩和策を早急に樹立し、平成22年度から適用する緊急対策を講じ執行に当たられるよう強く求める。

## 町民福祉課所管

### 松島長松苑の土地使料は

平成23年1月で10年の無償期間が終了するが、その後については利用者に影響が及ばないよう望む。

## 国民健康保険特別会計

### 特定健診について

特定健診を受けやすくする為に自己負担金が無料になる。また、新たに腎臓病の重症化防止を図るためのクレアチニン検査項目が追加されるが、受診率向上対策につながることを望む。





### 国民健康保険税

88%の収納率で予算が計上されているが、調整交付金が減額にならないよう、低所得者への配慮と滞納整理促進等に万全を期すことを望む。

### 建設課所管

#### 道路舗装整備について

町道や生活道路などの舗装要望が22箇所ある。優先順位や既舗装分との検証も含め、整合性のとれる道路整備をすべきである。

#### 愛宕駅前駐輪場の使用料について

これまでは無料であったが、平成22年度より10万円(100㎡)の使用料を支払うことになる。賃借ではなく購入すべきではなかったのか。

#### 町営住宅使用料の滞納について

現在164戸に対して161世帯が入居している。現在68万8,000円(5世帯)の滞納があり、収入超過者は15名である。法に沿った滞納対策を望む。

### 木造住宅耐震診断について

耐震診断対象戸数およそ1,600戸に対し、これまで27戸が診断を受けている。防災対策上からも、管理計画を推進することを望む。

### 都市計画道路根廻磯崎線について

- この事業は松島町の都市計画における道路ネットワークを形成する上で重要な路線であり、防災上でも大事なルートである。また、住居系幹線道路を補うことも期待できる。
- 国庫補助金を返還したケースは全国的に例があるのか。
- この道路は国道45号や県道奥松島松島公園線に接続してこそ役割が果たされるが、今はその見通しが立たない。
- 財政負担が重くのしかかるのではないか。
- 早い時期に議会に示すべきではなかったのか。

### 教育委員会所管

#### 学校給食について

食育基本法において、地場産品30%以上の使用が推進が示されているが、関係機関との連携を強めながら、より一層の食育を図られることを望む。

#### 温水プールの運営管理について

運営管理の効率化を図るために、指定管理者制度の導入が検討されているが、利用者の利便性、利用しやすい施設にするために、バス等の運行計画の充実化を望む。

### 水道事業所所管(一般会計)

#### 合併処理浄化槽について

平成21年3月現在で公共下水道区域外1,040戸中、合併処理浄化槽の設置戸数は270戸、普及率は25・95%と低水準であることから、より一層推進すべきである。

# 平成22年度 各種会計予算

# 討 論

## 討論参加者

緑山市朗議員  
今野章議員  
高橋利典議員  
洪谷秀夫議員  
後藤良郎議員

## 一般会計

### 「反対」

都市計画道路根廻磯崎線の事業再開、この一点について反対であるがゆえに、本予算案に反対する。

当該道路の整備を5年間で中断したのは、町の財政難のゆえと聞いているが、認可工事の残り約半分であるところの道路と仙石線への高架線を合わせてせいぜい17m延長するだけで、総額4億4千万円の事業費を要する。そのうち町負担金は2億円である。

この道路の整備には平成22年度から7年間を要するが、当該工事が完了したとしても、その先は行き止まりである。この道路が奥松島公園線

すべきではないか。

この認可事業を中止すると国庫補助金1億6千万円を返還せねばならないとのことであるが、また、返還をすると今後の補助金申請にも悪しき影響が生ずるかも知れないとのことであるが、一般の認可伸延のタイムリミットをギリギリ迎える前に、執行部は、国に財政上事業再開の困難性や、町にとつて必要な事業の優劣等の事情を強く訴え、補助金の差し替え等の効果的な交渉を、以前よりねばり強く行うべきではなかったのか。

社会状況や地球環境がどのように変化するか不透明な現在、簡便にまた緊急に整備すべき別途の道路整備策を考えるべきではないのか。例えば、取りあえず、この都市計画道路に接続している町道磯崎線手樽線のせいぜい100m程の延長と、華園から水溜上に抜けられる道路を整備すれば、この付近のアクセスはかなり良くなると考えられる。町負担の2億円はむしろこのような事業等に投入

### 「反対」

本予算案については、評価すべき点が少なからずあるものの、指摘すべき問題点が多々ある。

まず、町税についてであるが、平成21年4月に始まった県の地方税滞納

整理機構に本町も参加し、滞納された町税等の徴収の委託をしている。しかし、徴収に当たっては、町民の生活状態をしっかりと把握して、適切な対応が必要である。よって、県の整理機構に徴収を委託せず、町の滞納整理室で対処すべきである。

次に、町職員の定員管理計画についてであるが、平成22年4月目標の151名までの削減には至っていない。今後の仕事量の増大、住民サービスの低下や継続性の問題を考慮し、職員の計画的な採用を引き続き図ってゆくべきである。また、正職員が削減される一方で臨時職員はふえ続けている。そして、正職員との格差も甚しい。その待遇改善についての検討を望むものである。

仙石線松島海岸駅の整備については、引き続きJRと協議をしてゆくとのことであるが、駅舎の利便性の向上、バリアフリー化は、JR・町両者にとつて大切なことではある。しかし、そのために町が鉄道施設に過大な

財政負担を求められることも大きな問題を残すものであり、慎重な対応を求めらるものである。

防災については、昭和56年の耐震基準に達していない一般住宅が1,600戸余りと推定されるものの、耐震改修済み住宅はまだわずかである。国・県の対策の遅れと相まって、発生確率が高まっている宮城県沖地震の対策としては、遅れていると言わざるを得ない。対策を推進する積極的な対応を求めたい。

都市計画道路根廻磯崎線についてであるが、この事業は、平成7年、東磯崎土地区画整理事業を進めるために当時の議会の多くの反対を押し切つて計画され進められたものであり、この5年間、事業は中止されたままである。この道路の総延長は2,430mであるが、供用開始されたのはわずか343m余りで、工事再開をして残っている事業認可区間に平成22年度から28年度まで総額4億4千万円を投じてでも完成するのは518m余りと全長の2

割程度で、今後終点の県道奥松島線に接続するまでにはさらに10億円前後の予算が必要となるほか、起点の45号線根廻に到達するのはさらなる資金の投入が必要となってくる。今、この都市計画道路に膨大な経費をつぎ込むのではなく、県内でも激しく減少し続けている本町の人口対策や要介護者の入所待機者のための施設建設に踏み出し、働く場の確保など福祉施策の充実による地域経済活性化に向けた方策を取るべきではないか。

福祉については、福祉タクシーの対象が障害者手帳1および2級の療育手帳Aの人と75歳以上の高齢者となっているが、それ以外の高齢者にも対象拡大を図るべきである。同時に、町営バスについて、交通空白地域のみならず、町の南部地域についてもその運行あり方を含めた公共交通網の見直しや充実が求められると考える。

保育・教育については、高城保育所分園は、正規の保育園として独立させ



るべきではないか。小・中学校では、学校徴収金や校納金の父母負担金が大きく、軽減策が必要であると考える。また、中

学進学時の学生服の支援など就学援助の支援項目の拡大を図ることも求められているのではないかと、留守家庭児童学級では、児童保育の運営費補助基準額が見直しされ運営費が増額されるはずであったが、県の財政難を理由に見送られている。

農業については、個別所得補償制度が始まるが、所得補償の水準が低く、転作作物への補助金の大幅減額につながっていくなどの問題があるとのことである。農家が農業を続けられるよう生産コストを補償できるような施策が必要であると考え、以上の点を指摘して、反対討論とする。

## 「賛成」

大橋町長は施政方針の中で、国の制度を活用した失業者や高校新卒者を対象とした臨時職員の採用等の緊急雇用対策に取

り組むとともに、コミュニティ、観光、防災の3つを基軸として、更に定促進に向けた施策の推進および検討を進めるとしている。

コミュニティについては、まちづくりの基本となる地域コミュニティの核としての統合集会施設の建設や、高城コミュニティセンター建設の実施計画が計上され、地域コミュニティの一層の充実を目的としている。観光については、ファンクラブの創設、滞在型観光を目指す歩行系道路のネットワークづくりの検討や、ロシアのニジェゴロド州との国際交流をはじめ、観光業者と諸団体の連携が図られることが期待される。

医療については、特定健診の受診率低下を防ぐため、健診の無料化が実施される。

農業については、戸別所得方式による政策の転換により、国の水田経営所得安定対策に基づく生産条件不利補正対策交付金との差額が生じているので、町としては、地域

とも補償の差額の補てんをするなどの対策を講じて所得の安定化に努めるとのことなので期待したい。

教育については、第一小学校の体育館建設事業、また、それに伴う教育環境の整備が図られる。

以上、今後とも行政運営の効率化を徹底し、事業の選択と集中を図りながら、町民が将来に希望を持ち安心して暮らせるまじの実現に向けて予算が執行されることを望み、本予算案に対する賛成の討論とする。

## 国民健康保険特別会計

### 「反対」

本町の平成20年度の国民健康保険税の収入未済額、いわゆる滞納額は、2億8千万円を超えており、加入者が保険料を納め切れないほど高い医療保険になっている。

平成22年度では、保険税の限度額の見直しが予定されているが、収納率の低下を、限度額の引き上げや保険料の引き上げで穴埋めをするという、問題の解決を加入者負担をより強める方向に求めている。

町は、国に対して国庫負担の増減をより積極的に求めて、保険料を引き下げ加入者負担を軽減する方策を取るべきである。そして同時に、町民から医療を取り上げる資格証明書の発行はやめるべきである。以上のことから、本予算案に反対するものである。

### 「賛成」

国民の約4割が加入している国民健康保険は、地域における医療の確保と町民の健康増進に大きく貢献している。

当該保険の加入者は高齢者や低所得者が多いため、財政力が弱いのが実情である。若年層の加入が少なく、人口の高齢化と相まって、加入者の一層の高年齢化が進んでいる。

本町では、国の平成21年度の医療制度改革に伴い義務づけられた特定健診や保健指導の受診率向上に向け、受診しやすい体制づくりとして、自己負担金の無料化、予防可能な疾病の早期発見による重病化防止のための検査項目の追加、医療費の適正化等に努めるとしている。

歳出の抑制を図るとともに、保険税収納率の向上による歳入の確保に努めるなど、一層の努力を重ねることを要望し、賛成の討論とする。

## 後期高齢者医療特別会計

### 「反対」

現行の後期高齢者医療制度の廃止は、民意である。

本医療制度の1日も早い廃止を求めるがゆえに、本予算案に反対するものである。

### 「賛成」

本医療制度は、高齢者の医療費を安定的に支えるため、その負担能力に応じて公平に保険料を賦課するものである。

そのためには、現行の都道府県単位の広域連合による維持運営は、町の財政上やむをえないものである。よって、本予算案に賛成するものである。

※討論が行われた議案のみ掲載しております。



# 職員勤務時間、休暇等に関する条例等の一部改正

## 改正の趣旨

- ①平成20年人事院勧告を受けての勤務時間の短縮(1日15分短縮)
- ②平成21年人事院勧告の超勤代休時間の改正

### 勤務時間の短縮

1日7時間45分勤務へ

1週間当たりの勤務時間(職員)

40時間

38時間45分

再任用短時間勤務職員の勤務時間

16時間から32時間  
までの範囲内

15時間30分から31時間  
までの範囲内

## 質疑

**問** 残業で月60時間を超える職員はいるのか。

**答** 選挙の関係で7月と10月で1名が超えている。

**問** 残業を60時間以内に抑えるとしているが、超えた場合どうするのか。

**答** 時間外を縮減する方向で、60時間超えた場合は代休措置とする。

**問** 一人15分の時間短縮で行政サービスの低下を招く心配があるが。

**答** 昼食時間15分延長するが、受付対応は従来通りでサービス低下にならないよう徹底していく。

賛成全員・可決

## 質疑者

阿部 幸夫 議員  
今野 章 議員  
尾口 慶悦 議員  
小幡 公雄 議員  
菅野 良雄 議員  
高橋 辰郎 議員

松島町議会基本条例の一部改正

### 主な内容

新たな法律の制定により名称が変更になったことに伴い一部改正を行うものである。

賛成全員・可決

松島町心身障害者医療費の助成に関する条例の一部改正

### 主な内容

身体障害者福祉法施行令及び身体障害者福祉法施行規則、宮城県心身障害者医療費助成事業補助金交付要綱の一部改正に伴い条例の一部改正を行うものである。主なものとしては身体障害者手帳の障害対象に平成22年4月1日から「肝臓の機能障害」が追加され、その障害程度が1級から3級までの者を加えることになったため文言の追加を行うものである。

賛成全員・可決

職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例の一部改正

### 主な内容

職員の勤務時間、休暇等に関する条例の改正により、平成22年4月1日から時間外勤務代休時間が規定されることから、職員団体のための職員の行為の制限の特例で給与を受けながら職員団体のための業務又は活動を行うことができる期間に「時間外勤務代休時間」を加えるために、改正を行うものである。

賛成全員・可決

# 議案審議

松島町次世代育成支援行動計画の  
策定について

主な内容

後期計画（平成22年度から平成26年度）  
における主な施策（子育て支援施設の整備）

〈児童館〉

勤労青少年ホームを児童館として新たに位置づけ乳幼児から中学生までが安心、安全に楽しく集える場をつくり、子育て支援拠点として整備しています。

〈保育所〉

各保育所で保育時間を30分延長します。  
一時保育の実施↓保育所一カ所ですべて一時保育を実施します。

〈町立幼稚園〉

一時預かりの実施↓平成22年度から実施します。

〈留守家庭児童学級〉

平成22年度より午後7時まで延長します。

〈幼稚園の費用減免〉

平成22年度より、第2子以降の減免を拡充し3人目以降は無料にします。



質 疑

**問** 保育所 幼稚園のサービスの質の視点とあるが民間企業への委託の考えは。

**答** いろいろな保育施設のサービスの利用、幼稚園のサービスの利用の視点ということで内容については策定の中で議論をした。

**問** 病後児保育の整備について他町のトップと話し合いは。

**答** 具体的に記憶にない、これから出るかもしれない。

**問** トワイライトステイ、ショートステイ事業の内容は。

**答** トワイライトステイとは夜間保育ということもあるがそれ以降の夕方までの保育である。休日保育は一定のニーズはあるが近隣の市町でも事業をやめている。ニーズ調査が必要である。

賛成全員・可決

# 国の「地域活性化・きめ細かな臨時交付金」による14事業総額6,720万円の実施へ



耐震工事が行われる松島フットボールセンター無床体育館

## 「地域活性化・きめ細かな臨時交付金」による14事業

事業名	備考	事業費
①松島フットボールセンター無床体育館耐震化事業		13,000 <small>(千円)</small>
②地域活動センター(希望園)環境整備事業	床張替・スロープ設置	2,500
③保健福祉センター施設環境整備事業	照明・空調・排煙設備	5,000
④保育所環境整備事業	松島・高城・磯崎各保育所の床・トイレ改修	5,000
⑤健康館施設環境整備事業	外壁・床・内装の補修	3,000
⑥双観山受水槽設置事業		600
⑦町道四行戻しの松線道路整備事業	路盤200m階段50m	5,400
⑧道路案内標識板整備事業	町道高城・桜渡戸線ほか3路線	3,000
⑨町営住宅上初原団地瓦屋根葺替事業	瓦屋根→タン屋根23戸	10,000
⑩町営住宅高城団地地上デジタル放送アンテナ改修事業	1～3号棟	1,600
⑪消防団第五分団等消防車庫敷地舗装事業		5,000
⑫小学校遊具更新事業	第一・五小学校の滑り台・ジャングルジム等	6,700
⑬手樽地域交流センター進入路拡幅事業		1,600
⑭幼稚園遊具更新事業	第五幼稚園のコンビネーション遊具	4,800
合計		67,200

(注) 事業完了は平成22年度

### 【概要】

今回の補正は、第一に、国の緊急経済対策のため

### 一般会計 補正予算 (第6・7号)

の第二次補正予算に伴う「地域活性化・きめ細かな臨時交付金」の交付によるものである。  
この交付金は、5,469万円であるが、町の一般財源(2・5%)を合わせて総額6,720

万円、平成21年度から平成22年度にかけて、14事業が実施される。  
第二は、国の「まちづくり交付金」による三つ刈地区バリアフリー公衆トイレ整備事業(平成22年度完了、町負担5%)。

第三は、全国瞬時警報システム整備事業(平成22年度完了、全額国負担)である。

## 平成21年度補正予算

質疑者  
尾川晴悦 議員  
今野良正 議員  
片山弘 議員



## 質疑

(1)「地域活性化・きめ細かな臨時交付金」関係事業

**問** 当該交付金による諸事業と長期総合計画の実施計画との関連と整合性は。また、当該事業を選別決定した理由、そしてたった2週間で予算化した緊急性とは。

**答** これらの事業は、計画上ストックしていたものであり、通常予算で中々

難しい事業であり、かつ短期間で予算の積算が可能だったものである。また、平成22年度の前倒しもあるし、建設業の雇用拡大や、耐震化という緊急性もある。

**問** これらの工事の発注に当たっては、地元業者の育成の観点から、優先発注すべきではないのか。

**答** 地元業者で工事可能なものについては、優先発注している積りである。

**問** フットボールセンター

は、宮城県サッカー協会の管理下にあるが、町民の有効利用は可能なのか。

**答** 指定管理者施設であるが、優先的使用権は原則として本町にあるので、町のスポーツ振興計画にも則り、使用料金も含め、町民にとって便利で利用価値のある施設にしていきたい。

**問** 西行戻しの松歩行者系道路は、何故この交付金で整備することになったのか。

**答** 従来から整備計画があつたし、松島で景観眺望が最も良い所であつた松島海岸駅からも近く、町有地で低コストの工事が可能なので、今回のポ

ナス的財源で実施することにした。

**問** 町営住宅上初原団地は築40年で、耐用年数がとうに過ぎていますが、倒壊の危険はないのか。また、町営住宅の今後の建設計画は。

**答** 耐用年数は住宅法上は30年で、確かに過ぎてはいるが、トタン屋根に葺替えることで、倒壊の危険性は1ランク良くなる。尚、町営住宅建設のマスタープランは、今のところは無い。

**問** 町営住宅のテレビアンテナの改修は良いとして、来年7月の地上デジタル放送への完全移行化を控えての難視聴対策は。

**答** 耐震化のためにトタン屋根に葺替えられる町営住宅上初原団地

**答** 全町をカバーする中継局の設置が現実化しつつあり、また、最近の光回線による再送信事業の展開の可能性もあり、両者の推移を見据えて対応していきたい。

(2)三十刈バリアフリー公衆トイレ新設事業

**問** 在来の公衆トイレの隣に新設することであるが、当該地前の道路は連休時に渋滞するところである。車輛利用者にも便利なように標示板も含め設置場所を再考すべきではないか。

**答** 公共下水道への接続、また景観のことも考慮に入れて検討したい。

(3)全国瞬時警報システム導入事業

**問** 防災行政無線が既にデジタル化整備されている。しかし、家屋内では聞こえにくいという面もある。緊急導入の必要性はあるのか。また、弾道ミサイル発射情報も含まれているが、速報される諸情報について選択肢はあるのか。

**答** 当町は観光地であるので、屋外情報も必要である。また、情報には、津波警報、緊急地震情報等の自然災害情報や弾道ミサイル情報等があるが、システムが自動起動するので、情報について選択肢は無い。

その他として以下の質疑がなされた。歳入については、入湯税については、また、歳出においては、諸業務の委託料、審議会委員等の報酬、公債の元金償還金について執行部からの詳細な説明を求めた。

賛成多数・可決

その他として以下の質疑がなされた。歳入については、入湯税については、また、歳出においては、諸業務の委託料、審議会委員等の報酬、公債の元金償還金について執行部からの詳細な説明を求めた。

## 各種会計補正予算概要

(単位：千円)

会計名	補正前の額	補正額	計
一般会計(第6・7号)	5,520,137	33,261	5,553,398
特別会計	国民健康保健(第6号)	△ 4,338	1,840,175
	後期高齢者医療(第2号)	△ 19,000	162,865
	介護保険(第5号)	52,585	1,132,617
	介護サービス(第2号)	△ 1,146	3,661
	観瀾亭等(第5号)	6,913	103,499
	下水道事業(第4号)	△ 53,316	1,188,231
水道事業会計(第4号)	収益的支出	874	613,793
	資本的収入	△ 1,116	2,885
	資本的支出	△ 27,400	330,182



耐震化のためにトタン屋根に葺替えられる町営住宅上初原団地



新築バリアフリー化される三十刈公衆トイレ

# 自由討議

質疑の後、執行部を交えず、「地域活性化・きめ細かな臨時交付金」による諸事業について、約1時間、議員間の自由討議が活発に行われた。

- 主な討議事項は、
- (1)当該交付金事業の実施計画と在来の長期総合計画の実施計画との関連と整合性、そして議会への周知方について。
  - (2)テレビの地上デジタル放送アンテナ改修事業と難視聴対策について。
  - (3)町営住宅上初原団地瓦



第一小と第五小に新設される予定の滑り台とジャングルジム(イメージ写真)

屋根葺替事業と老朽化に伴う町営住宅の今後のあり方について、であった。以上3点についての討議を踏まえて、本会議において更なる質疑が行われた。

## 討論

参加者 今野 章 議員

《反対》  
全国瞬時警報システムの導入は、地震、津波、火山などの自然災害に対応するというより、武力攻撃事態など有事に対処する緊急情報を流すことが主体となつていると考えられ、有事法制に沿つ

て、身の回りで、静かに戦争をする国づくり、戦争ができる国づくりの体制がつくられつつあると危惧するものである。  
ゆえに、現行のデジタル防災行政無線と、このシステムを接続しなければならぬ緊急性や必要性があるとは考えられない。  
もっと緊急に必要な雇用対策や失業対策等に予算配分をすべきものと考え、このシステムの導入に反対である。  
よつて、本予算案に対して反対をするものである。

## 国民健康保険特別会計補正予算 (第6号)

### 質疑

問 県の財政調整交付金補助金の減額、および共同事業交付金すなわち高額医療費共同事業交付金・保険財政安定化事業交付金が減額となつた理由は。

答 前者は、算定の期間と対象が、国と県で異なるゆえの減額であり、従つて逆に国の財政調整交付補助金が増額となつている。後者は、交付申請確定数の減少による減額である。

問 特定健康審査の自己負担金ならびに委託料の減額の理由は。またその受診率は。

答 受診率の目標値の50%に対して44.3%であつたゆえの減額である。

全員賛成・可決

## 介護保険特別会計補正予算 (第5号)

### 質疑

問 高額介護サービス給付費の増額の理由は。

答 平成21年度に創設された「高額医療・高額介護合算制度」により、基準限度額が、従来の別個の基準での給付に比べて、両者の合算により全体として下がつたために、給付費の増額となつた。

問 要介護認定者の推移と出現率は。

答 平成21年度において、34人増の639人、また出現率は、13.6%から14.2%への増加である。

全員賛成・可決

## その他の補正予算

▼後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)  
全員賛成・可決

▼介護サービス事業特別会計補正予算(第2号)  
全員賛成・可決

▼観瀾亭等特別会計補正予算(第5号)  
全員賛成・可決

▼下水道事業特別会計補正予算(第4号)  
全員賛成・可決

▼水道事業会計補正予算(第4号)  
全員賛成・可決

※補正予算については質疑があつたもののみ、掲載しております。

# 町政 Q & A

## ここが聞きたい! 一般質問

### 10名の議員が14件について質問

〈3月定例会では、2日間にわたり活発な議論が展開されました〉

**佐藤 皓一** 議員 (24ページ) ● 松島海岸駅の改修は作戦を変えよう  
● 松島水族館の将来展望

**今野 章** 議員 (25ページ) ● 入所待ち解消へ特老ホーム建設を  
● 若者の暮らし応援で町に活気を

**色川 晴夫** 議員 (26ページ) ● 地上デジタル放送に伴う本町の対策  
を再度伺う

**菅野 良雄** 議員 (27ページ) ● 北部地区の活性化を三次計画に

**高橋 辰郎** 議員 (28ページ) ● 高城町の低地雨水排水について伺う  
● 児童館の建設について  
● グループホームの公募について

**赤間 洵** 議員 (29ページ) ● 旧磯崎地区の公の集会施設整備計画  
について伺う

**後藤 良郎** 議員 (30ページ) ● 安心できる介護制度へ

**尾口 慶悦** 議員 (31ページ) ● ロシアへの観光団派遣と二次交通に  
ついて

**渋谷 秀夫** 議員 (32ページ) ● 環境美化推進について

**小幡 公雄** 議員 (33ページ) ● 「松島ブランド米」とは?





さとう こういち 議員  
佐藤 皓一 議員  
(一問一答方式)

**問** 松島海岸駅の改修は  
作戦を変えよう

**答** 大金は出せないが  
交渉は打切らない

**問** 松島海岸駅の改修は町にとつては大きな要望であるが、経費が莫大である。深刻な負担になり、将来に禍根を残す心配があるので、一度白紙に戻すよう提案する。



仙石線松島海岸駅

**答** 松島海岸駅の改修については、JRと町が共同で基本的な工事の設計をして、町側の負担を求められた。その金額では町はのれないと話し、JRとしては町からの負担がないとやれないということで暗礁に乗りあげている。ほかの自治体の例を見ると、交渉を続けながら、国の補助金の動き

やJRの考え方の変更を待つのが得策と考えており、白紙に戻すことは考えていない。また、JRは町の財政に配慮していないということだが、相手の論理を呑み込んで町が過大な負担をすれば不幸になるので、合理的な提案が出るまで待つている状況である。

**問** 松島水族館の将来展望は

**答** 推移を見守り、移転後の  
対策も考える

**問** 松島水族館の将来展望がはつきりしない。松島でやろうという話がないという気持を基本線として持つてほしい。

**答** 松島水族館の移転問題については、経営側は経営の観点から松島ではできないと判断し、仙台市などと交渉した結果が今の状況になった。町として資金援助などは出来ないと思えるので理解していると思う。あそこでもやるかどうかについては、先行きが不透明なことでもあり、推移を見守っていく。なお、水族館が移転した場合、その後継施設や、あの土地は県有地なので、継続して使用する、させるなど県とも話をしながら、次の施設、そういったものについての対策に入っているところである。



あきら 今野 議員  
（一問一答方式）

## 問

入所待ち解消へ  
特養ホーム建設を

答 施設建設は保険料の負担増に

問 県は22年の主要施策として特養ホームの入所待機者解消へ予算計上した。本町の長松苑では待機者が411人を超え、平均待機期間が7か月と何年待っても入れない。1日も早くこの状態の解消を図るため、特養ホームの建設をすべきと考えるがどうか。

答 町の第4期介護保険事業計画期間内での施設整備の予定はない。特養ホームの建設等は、県が全体の整備も目標を定めるため町だけでの判断は非常に難しい。

問 入所待機者の状況を見れば建設は不可避と思うが、町にその認識はなのか。

答 86名の町民が長松苑に申込み、約1年待たなければならぬ現状は重く受け止めている。しかし、施設建設は介護保険料の上昇、本町財政に影響を及ぼすことから難しいと考える。



特養ホーム長松苑

## 問 若者の暮らし応援で町に活気を

答 財布と相談し、魅力ある町に

問 町の人口減少が激しい。歯止を掛ける具体的施策が急がれると考えるが町長の認識はどうか。

答 町施策の柱に防災・コミニティー・観光を掲げ、継続可能な町・人が入ってくる魅力ある町の実現が課せられた課題と認識し、今年、定住化の施策をスタートさせた。

問 若人に住んでもらう施策として、子ども医療費の助成拡大や校納金の助成を考えるべきでは。利府町では、これらの施策が打ち出されている。

答 施策は幅広くあり、利府には利府の松島には松島の事情がある。財布と相談し町全体を魅力あるものになりたい。

問 若者向け住宅建設についてはどう考えるか。

答 町営住宅として進める時代ではないが、定住化の施策をスタートさせたところであり、その中で幅広く手法を検討していきたい。

## 問 地上デジタル放送に伴う本町の 対策を再度伺う

答 <sup>とみやま</sup>「富山」を中継局候補地として検討



地上デジタルテレビへの対応は



いろかわ はるお 議員  
色川 晴夫 議員  
(一問一答方式)

**答** 候補地は何か所かあった。海側からの発信は波が悪影響を及ぼす。また文化財等の問題がある。東松島側の富山は制限を受けず、町内全域に発信するための検討をした。

**問** 富山が中継局設置候補となった理由は、また他に候補地はあるのか。

**答** 難視世帯が多く、中継局設置を国、NHK・民放各社に要望、富山を調査した。

**問** 難視世帯1600㉿2000世帯と報告あったが、その後の対策は。

**答** ケーブルテレビを含め今後、町の広報、ホームページ等でPRが必要である。具体的日程に考えていく。

**問** 難視解消に向け、国の取り組み、対策を住民に説明すべきである。

**答** 山の陰になるエリアに影響がある。対策として、共同アンテナの他、光回線によるサービスがある。

**問** 松島全域をカバー出来るのか。





かん の よし お  
管 野 良 雄 議員  
(一問一答方式)

## 問 北部地区の活性化を三次計画に

答 デベロッパー探しの段階に入っている



品井沼駅前

**問** 本町は人口減少と同時に高齢化率も高い。北部地区も同じ現象で地域そのものが消えるおそれが出ている。

品井沼駅前から徒歩1〜2分の所に私有地を含めて約3千㎡の空地がある。

この土地を活用し地域活性化に結びつく第三次長期計画を作成すべきと思うが町長の所見は。

**答** 品井沼地区の整備は総合計画を踏襲しながら動いているが、活性化のため駅周辺に土地があるということを入れて、三次基本計画をつくる際のヒントにしていく。

**問** 町の将来像を示す総合計画や国土利用計画は財源の裏づけがあつての計画と思う。計画即実行とは言っていない。

**答** 実現するためには人・物・金をどう動かすかであるが、実はデベロッパー探しの段階に入っている。民間で駄目なら国県でいくのかと決めが必要と思つている。



高城川左岸、中橋～明神橋の様子

問

高城町の低地雨水排水について伺う



たか はし たつ ろう 議員  
高橋辰郎 (一問一答方式)

答

当面の対策をとり本格的取り組みをすすめたい

問 川より逆流水防止対策のその後を伺う。

答 昨年10月から12月にかけてフラット弁5ヶ所を整備している。

問 愛宕一地区内の低地住宅の排水対策対処は。

答 当該地よりポンプ場迄の排水路整備をしている。

問 明神橋際へのポンプ場新設は。

答 本年3月末に100ミリ

ポンプが竣工する。

問 中橋～明神橋の川沿いの雨水排水は。

答 字町55番地と62番地に50ミリと100ミリの可搬式ポンプを用意している。

問 答弁で当面する対策は理解できた。本格的整備のための認可を伺う。

答 西柳地区の面的整備、本格ポンプ場等を含め24年度まで国の整備認可を得る。一連の整備実施は29年度を見込んでいます。

これも聞きました

問

グループホームの公募について

答

国費補助などは説明し対処している

問 勤労青少年ホームを児童館とする庁内討議内容を伺う。

答 町民福祉課を中心に庁内各課より2名程の人选で作業部会を設けた。

問 検討による適性との判断要因をききたい。

答 勤労青少年ホームとすることのプラスとして①図書館がある②立位置がいい③集会場として全ての人が利用し、施設の用途廃止ができる等である。

問 マイナスは何か。

答 せまいことである。

問 児童館は単独とすべきだ、先進事例を学んだか、先進地を見ているか。

答 先進地事例の検討はしなかった。本来児童館は単独が好ましい事とされている。次世代育成支援行動計画の中で検討はしていきたい。

問

児童館の建設について

答

単独施設づくりは検討したい



あか ま まこと  
赤 間 詢 議員  
(一括方式)

**問** 旧磯崎地区の公の集会施設  
整備計画について伺う

**答** 施設整備については22年度中に  
磯崎区会と協議をしていく



磯崎区民会館

**問** 旧磯崎地区にある磯崎区民会館は昭和45年に建設、磯崎区会で維持、管理、運営されてきた。しかしながら、築40年が過ぎ老朽化が進んできている。区民が安心してコミュニケーションがとれる集会施設整備計画を伺う。

**答** 平成22年度は本郷区次に高城区を整備していく予定、その後松島地区や磯崎地区の集会施設の整備を進めていく。

**問** 磯崎区の中心地の高台に緑松会館という施設があり耐震構造であるその買収の考えを伺う。

**答** この集会施設の整備については22年度中には磯崎区と協議をしていきたいと考えている。



問

安心できる介護制度へ



ごとうよしろう 議員  
後藤良郎  
(一括方式)

答

小規模多機能型居宅  
介護事業を検討したい

介護保険制度が、平成12年度にスタートして10年。介護サービス基盤の充実とともに制度が広く住民に浸透してきている。年々増加する利用者の実態から安心して老後を暮らせる介護保険制度にすべきである。

業であり、重要な役割を担うものである。次期介護保険事業計画において検討していく。

問 介護ボランティアに参加した高齢者へ、ボランティアポイント制度を導入できないか。

問 高齢者が安心して介護サービスが受けられるように、小規模多機能型居宅介護事業を取り入れてはどうか。

答 地域支援事業の中でボランティア育成事業を実施している。ボランティアポイント制度については検討していく。

答 この事業は、在宅介護家族をサポートする事



特養ホーム長松苑

※小規模多機能型居宅介護とは、平成18年4月の介護保険制度改正により創設された、地域密着型サービスのひとつです。介護が必要となった高齢者（主に認知症高齢者）が、これまでの人間関係や生活環境をできるだけ維持できるよう、「通い」を中心に「訪問」「泊まり」の3つのサービス形態が一体となり、24時間切れ間なくサービスを提供できるのがその大きな特徴です。



おぐち けい えつ  
尾口慶悦議員  
(一問一答方式)

**問** ロシアへの観光団派遣と二次交通について

**答** 国際的関心を松島に  
それを呼び水に誘客効果を



諸外国より訪れる観光客

**問** ロシア観光訪問団派遣費として職員2名分100万円を予算化したのが、その効果は。

**答** 県事業として、ロシアへの国際観光団派遣であり、宮城松島のPR企画で町内各種団体にも呼びかけ誘客に努めたい。

**問** 町の職員は全額町費で各種団体への財政援助は考えないのか。

**答** 基本的には自主的・自発的に趣旨に賛同する団体を募ってと考えており補助は考えていない。

**問** 二次交通としての循環バス認可期限切れに伴う町の対応は。

**答** 現在運行のバスは、旅館送迎循環バスであったが観光ルートの利用もあり松島のイメージアップにも貢献した。観光協会が運営主体になる案で詰めてきたが、長期的な運営には大きなリスクを負うことが懸念されると協会は慎重姿勢であったので打ち切ることで納得した。

## 問 環境美化推進について

答 民有地の雑草処理は  
今後も指導を継続して行く



しぶ や ひで お  
渋谷 秀夫 議員  
(一括方式)



秋の清掃活動

**問** ゴミの減量化はどこまで進んでいるのか。

**答** 年々着実に減少化傾向にあり平成19年度と平成20年度を比較した場合、1人1日当たりの排出量で約50gの減量化が図られている。

**問** 春・秋の一斉清掃の成果は。

**答** 一斉清掃の成果であるが、一般ごみの回収及び除草実施により環境美化が図られている。一斉清掃以外の時期においても活発に行われるようになった。

**問** 民有地の雑草処理は、町指導で徹底すべきと考えるが。

**答** 民有地の問題であるが文書または訪問によって管理指導を行っている。所有者が町外の場合には、送付文書に参考として、除草などの作業請負業者名を紹介している。今後も指導を継続して行く。





お ばた きみ お  
小 幡 公 雄 議員  
(一問一答方式)

## 問 「松島ブランド米」とは？

答 地元農家生産の環境保全米を指している



安全・安心な米を地産地消で

問 「松島ブランド米」の立ち上げの事業支援を表明しているが、どのようなものなのか。またその食味・品質評価は。

答 ブランド米とは、町内で生産されるササニシキひとめぼれの環境保全米を指す。安全・安心な米による

地産地消を全国に発信していくということを中心として、町・JA仙台及び生産者が共同して開発に着手している。食味評価は、スペシヤルランク、Aランクがおおむね半々であり、日本産米標準と比較すると高い。環境保全米の作付けは全体の3割程度である。品質評価は、1等米比率で82・2%と目標値より高くなっている。22年度の環境保全米の作付けは、ササニシキが34人・33ha、ひとめぼれ55人・121haの予定となっている。

### ※「環境保全米って何？」 …みやぎの環境保全米HPより

環境保全米とは、環境に負担をかけないよう農薬や化学肥料をできるだけ減らし、消費者の健康を考え、大切に育てたお米です。

ひと口に環境保全米といってもいろんな農法があります。

- (1) 農薬や化学肥料を一切使わないJAS有機栽培米。
- (2) 農薬の使用成分回数が5回以下で、本田では化学肥料は使用しない環境保全米Bタイプ。
- (3) 農薬の使用成分回数8回以下、化学肥料(窒素成分)3.5kg以下にした、環境保全米Cタイプ。

# 請願 陳情

質疑・討論 参加者

今野 章 議員  
阿部 幸 夫 議員  
尾口 慶 悦 議員  
高橋 利 典 議員  
渋谷 秀 夫 議員

「中小業者の自家労賃を必要経費として認めることを求める意見書」採択の請願

## 〈趣旨〉

中小業者は、地域経済の担い手として日本経済に貢献してきた。

その中小業者を支える家庭従業者の働き分を必要経費として認められていない現状をふまえ、国及び政府に対し税法だけでなく民法、社会保障にもかかわる人権問題として、憲法の精神を生かし、所得税法第56条を改正し、自家労賃を必要経費として認めることを求める。

……第1常任委員会付託  
請願者  
塩釜民主商工会婦人部  
部長代理 久保恵美  
紹介議員 今野 章

「最低賃金の大幅引き上げと全国一律最低賃金制度の確立を求める意見書」採択に関する陳情

第1常任委員会報告

最低賃金の大幅な引き

上げによって、さらなる雇用の悪化を生み出すとともに、賃金の引き上げによる労働時間の短縮での月額の収入低下を招くことが考えられる。

現在多くの中小企業は、企業間の競争激化やデフレなどによる体力の限界に直面している。そのため、見習い期間のカットや熟練工の減少など、また、製造部門や加工分野においての無人化が進むことが懸念される。

また、この陳情は非正規労働者の賃金を上げれば、正規労働者の賃金が引き上げるとして、農業者や事業主を含めたすべての業種を対象とした内容になっている。

全国一律最低賃金制度の確立をした場合、需要と供給のバランスや物価水準が崩れ、社会経済に支障きたすと考えられ、よって第1常任委員会全員一致で、不採択すべきと決した。

## 質疑

問 委員会として、最低賃金と生活保護費との関連で、比較検討を行ったのか。

答 委員会として、具体的に比較検討は行っていない。

## 討論

### 「反対」

賃金を上げることは必ずしも反対するものではないが、この全国一律の賃金制度にしたならば、需要と供給のバランスや物価水準がたちまちに崩れ、世界経済をも混乱することも考えられる。

国が定めた最低賃金制度に基づいた県の最低賃金審査会を尊重することが妥当と考え、本意見書を提出することについて、反対するものである。

### 「賛成」

最低賃金法で定めているように、賃金は、健康で文化的な生活ができる費用が残るような水準に

していかなければならないと考える。県の最低賃金は生活保護費以下だと言われており、最低賃金の一層の引き上げは必要と考える。最低賃金を引き上げれば、中小企業は

やっつけいけなくなると議論が盛んであるが、低賃金労働者の賃金を引き上げれば、富裕層の収入を増やすよりは経済効果が大きいものと考ええる。よって本意見書を提出することに賛成するものである。

「ヒロシマ・ナガサキ議定書」のNPT（核兵器不拡散条約）再検討会議での採択に向けた取り組みを求める意見書

### 〈趣旨〉

国会及び政府において、2020年までに核兵器を廃絶するための道筋を示した「ヒロシマ・ナガサキ議定書」の趣旨に賛同し、その採択に向け、核保有国をはじめとする各国政府に働き掛けていただくよう強く要請し、関係機関に意見書を提出するものである。

採択され意見書として提出しました。

件名	提出先
○父子家庭と母子家庭がともに「ひとり親家庭」として平等に支援を受けられるよう対策を求める意見書 ○改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書 ○「ヒロシマ・ナガサキ議定書」のNPT再検討会議での採択に向けた取り組みを求める意見書	衆・参議院議長、 内閣総理大臣ほか

# 平成22年第1回松島町議会定例会 議案採決結果

全：賛成全員（可決・採択） 多：賛成多数（可決・採択） 否：賛成少数（否決・不採択）

○：賛成 ×：反対 退：退席 欠：欠席

※櫻井公一議員は議長のため採決に加わりません

議案番号	議案名	議決月日	採決結果	線山	佐藤	高橋	伊賀	阿部	高橋	渋谷	高橋	尾口	色川	赤間	太齋	後藤	片山	菅野	今野	小幡	櫻井	賛成	反		
				市朗	皓一	辰郎	光男	幸夫	利典	秀夫	幸彦	慶悦	晴夫	洵	雅一	良郎	正弘	良雄	章	公雄	公一	成	対		
請願第1号	「父子家庭と母子家庭がともに『ひとり親家庭』として平等に支援を受けられるよう対策を求める意見書」の提出を求める請願(継続審査)	3月3日	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	17	0		
陳情第3号	「最低賃金の大幅引き上げと、全国一律最低賃金制度の確立を求める意見書」採択に関する陳情	3月3日	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	-	1	16		
陳情第4号	「改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書」の提出を求める陳情	3月3日	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	17	0	
請願第1号	「中小業者の自家労賃を必要経費として認めることを求める意見書」の採択を求める請願について	3月3日	第1常任委員会へ付託																						
第1号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部改正	3月5日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	17	0	
第2号	松島町心身障害者医療費の助成に関する条例の一部改正	3月5日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	17	0	
議員提案第1号	松島町議会基本条例の一部改正	3月5日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	17	0	
第3号	平成21年度松島町一般会計補正予算(第6号)	3月5日	多	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	×	○	-	14	3	
第4号	平成21年度松島町国民健康保険特別会計補正予算(第6号)	3月5日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	17	0	
第5号	平成21年度松島町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	3月5日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	17	0	
第6号	平成21年度松島町介護保険特別会計補正予算(第5号)	3月5日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	17	0	
第7号	平成21年度松島町介護サービス事業特別会計補正予算(第2号)	3月5日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	17	0	
第8号	平成21年度松島町観瀾亭等特別会計補正予算(第5号)	3月5日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	17	0	
第9号	平成21年度下水道事業会計補正予算(第4号)	3月5日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	17	0	
第10号	平成21年度松島町水道事業会計補正予算(第4号)	3月5日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	17	0	
第11号	平成22年度松島町一般会計予算	3月16日	多	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-	14	3
第12号	平成22年度松島町国民健康保険特別会計予算	3月16日	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-	16	1
第13号	平成22年度松島町老人保健特別会計予算について	3月16日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	17	0	
第14号	平成22年度松島町後期高齢者医療特別会計予算	3月16日	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-	16	1
第15号	平成22年度松島町介護保険特別会計予算	3月16日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	17	0	
第16号	平成22年度松島町介護サービス事業特別会計予算	3月16日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	17	0	
第17号	平成22年度松島町観瀾亭等特別会計予算	3月16日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	17	0	
第18号	平成22年度松島町松島区外区有財産特別会計予算	3月16日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	17	0	
第19号	平成22年度松島町下水道事業特別会計予算	3月16日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	17	0	
第20号	平成22年度松島町水道事業会計予算	3月16日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	17	0	
議員提案第5号	議員定数等調査特別委員会設置に関する決議	3月16日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	17	0	
議員提案第6号	ゲーミング・エンターテインメント複合施設の誘致推進に関する調査特別委員会設置に関する決議	3月16日	多	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	-	14	3	
第21号	職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例の一部改正	3月17日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	17	0	
第22号	松島町次世代育成支援行動計画の策定	3月17日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	17	0	
第23号	平成21年度松島町一般会計補正予算(第7号)	3月17日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	17	0	

※他に議員提案として意見書3件が原案どおり可決されました。



# 町民の声



白井卓二さん  
(三居山)

## 議会改革への期待

議会基本条例制定後2年、議会報告会、一般会議、議事録の閲覧など議会と町民の距離を確実に狭めました。議会傍聴や議会報告会での参加者が少ないことが残念です。議会改革は町政への参加意識を高める観点からも進めて欲しいものです。

また、議会報告会で町民から出される意見要望は町へのそれが殆どですが、議会だよりを読んで「〇〇に回答済み」的な回答が多く全町民が内容を理解し、問題を共有するとは困難です。町民全般に如何に問題と回答を周知するか議会としてフォローすべきだと思います。

さらに先の選挙では多くの住民から議員定数削減の声が聞かれました。これまでの努力と合わせて検討されるべきテーマでしょう。そして何よりも私達町民も新しい時代の町づくりに向けて、変革が求められていることも忘れないようにしなければと思います。

次回6月定例会は  
**6月11日** 開催予定です。  
ぜひ傍聴においで下さい。

読みやすく親しまれる  
広報づくりをめざして

松島町議会広報発行対策特別委員会では、全国町村コンクールで高い評価を得ている七ヶ浜町議会と意見交換をしました。この研修で、町民に親しまれ読みやすい議会だより編集の技術等を学び、「まつしま議会だより」に反映させてまいります。



## 議会からのお願い

議会だよりへのせる写真撮影のために、議員が向きます。腕章をつけて行きますので、よろしくご協力をお願いいたします。

## 編集後記

町民のみなさん、今回の議会広報をどのように感じましたか。

新しい議会広報委員会となつて、2回目の発行です。色川委員長をはじめとして6人の委員で、七ヶ浜町議会へ研修に行き、町民の皆様に見やすく、読みやすいように、編集を考え、なるべく字数を整理し、写真や余白を多くするように努力しました。

今号は、新しい議会広報を目指した第一歩です。今後も、私たちに与えられた2年間で、より見やすく、わかりやすい議会広報を目標として発行していくつもりです。

最後に、議会広報についてのご意見と、議会の傍聴もお願いいたします。

委員長 高橋(幸)  
副委員長 色川 晴夫

高橋 幸彦  
緑山 市朗  
佐藤 皓一  
伊賀 光男  
赤間 洵